

資料提供(投げ込み) 令和4年6月6日(月)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
河芸総合支所 地域振興課 (電話059-244-1706)	産業振興・環境担当副参事 松下 貴史

「令和3年度飼料用米多収日本一」
東海農政局長賞受賞者による市長への報告について

このことについて、一般社団法人日本飼料用米振興協会主催「令和3年度飼料用米多収日本一」の「①単位収量の部」において、津市河芸町三行の喜多義幸さんが東海農政局長賞を受賞されましたので、下記のとおり市長への報告を行います。

記

- 1 日時
令和4年6月10日(金) 16時から
- 2 場所
秘書課応接室(市本庁舎4階)
- 3 受賞者及び受賞名など
 - (1) 受賞者 喜多 義幸(きた よしゆき)(津市河芸町三行)
 - (2) 受賞名
令和3年度飼料用米多収日本一 ①単位収量の部 東海農政局長賞
 - (3) 受賞日 令和4年3月30日
(例年であれば受賞者を対象に表彰式が行われる予定であったが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として開催されていない。)
 - (4) 受賞に際し評価された内容
飼料用米多収日本一表彰は、農林水産省と一般社団法人日本飼料用米振興協会が主催し、飼料用米の生産に取り組まれる農家の生産技術の向上を図るため、生産技術の面から先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介するものであり、東海農政局においては、同コンテストの一環として、平成29年度から「飼料用米多収日本一」東海農政局長賞表彰を実施している。
今回受賞された喜多 義幸さんは、経営面積30haのうち7.3haを飼料用米として品種名、あきだわら及びどんとこいを耕作している。
20年以上前から、鶏糞を活用した独自の土づくりに取り組み、少しずつ収量を増加してきた。さらに、令和2年度からドローンを用いた病害虫防除を実施したところ、さらなる収量の増加と品質の向上に繋がり、今回、単位収量の部において受賞となった。
- 4 対応者
津市長 前葉 泰幸